

第2回

あび中

社会科通信

2019/6/26

対立と合意、効率と公正

3年生で公民の授業がスタートしました。公民の基礎基本は「対立と合意」「効率と公正」です。ものごとが対立したときにどのように合意形成をするのか、そのときにどのようなことに気を付けなければいけないのかを考えました。

取り組んだ課題は、「A 中学校のグラウンドでは5つの部活動が活動していますが、グラウンドの改修工事が始まり、グラウンドの使い方を考え直すことになった」というものです。それぞれの部活動の事情を考えながら、無駄がないか、立場が変わっても受け入れられるかを検討しました。平等と公正の違いを知り、公正の難しさを実感しましたね。グラウンドや体育館の割り当てを考えてくれている先生方への感謝の気持ちを振り返りに書いている人もいました。

社会科では、はっきりと答えの分かる問題ばかりを取り扱うではありません。たくさん悩んだ人ほど、今回の目的である「対立と合意」「効率と公正」の考え方が身についたはず。これからの公民の授業でもしっかりと考えていきましょう。



ご近所フィールドワーク ～百舌鳥・古市古墳群～

ユネスコ(国連教育科学文化機関)の世界文化遺産に、大山古墳(伝・仁徳天皇陵)など「百舌鳥・古市古墳群」が登録される見通しとなりました。6月30日からアゼルバイジャンという国で開かれる世界遺産委員会で最終決定する予定です。

この古墳群がつくられたのは、古墳時代最盛期の4世紀後半～5世紀後半。国内最大の方後円墳である大山古墳(墳丘長486メートル/堺市)、2番目の菅田御廟山古墳(同425メートル/羽曳野市)のほか、大きさも形も多様な49基で構成されます。古墳が密集する堺市の百舌鳥エリアと羽曳野市・藤井寺市の古市エリアは、古代日本の政治や文化の中心地の一つ。個人の権力の大きさや身分の差が目に見える形で示されるようになっていった日本の歴史を物語るものとして、特徴があると認められたのです。

世界遺産の総数は1092件。日本からは現在、文化遺産18件、自然遺産4件の計22件が登録されており、正式に決まれば23件目、大阪初の世界遺産となります。

大山古墳はJR三国ヶ丘駅や百舌鳥駅から歩いてすぐです。ぜひ一度見に行ってみては？



いよいよ開幕！



6月28～29日に住之江区・咲洲のインテックス大阪で行われる、G20。どんな会議で、誰が来るのか知っていますか？

G20の正式名称は「金融・世界経済に関する首脳会合」。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、中国、フランス、ドイツ、インド、インドネシア、イタリア、日本、メキシコ、韓国、南アフリカ共和国、ロシア、サウジアラビア、トルコ、イギリス、アメリカの19ヶ国＋欧州連合(EU)の首脳と、招待国や国際機関の代表が参加して毎年開催される国際会議です。最近では経済や貿易だけでなく、気候変動・エネルギー、保健、テロ対策、難民問題などの地球規模の課題についても活発に議論し、持続可能な世界の実現を目指しています。

さて今回、各国の首脳たちは大阪で何を話し合うのでしょうか？ お休みの間にぜひニュースをチェックしてくださいね。



中国
習近平
国家主席



イギリス
メイ首相



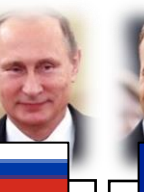
アメリカ
トランプ
大統領



日本
安倍晋三
首相



韓国
文在寅
大統領



ロシア
プーチン
大統領



フランス
マクロン
大統領



ドイツ
メルケル
首相

